

東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部

事務局 〒104 東京都中央区銀座1-13-4 大槻経営労務管理事務所内

東京都社会保険労務士会 千代田・中央支部 ☎03(535)5006 発行人 大槻哲也



千島ヶ淵公園

巻頭言 「私の彼は社会保険労務士よ！」

第一部会長 金 綱 久 夫

先日テレビドラマの中で、若いOLが「私の彼は弁護士よ、弁護士、弁護士！」と自慢している場面がありました。専門職の中でも医者と弁護士は社会的評価も高く、結婚相手を選ぶ際にも人気のある職業です。社会保険労務士制度が出来て今年で満21周年になりますが、いつの日か女性に「私の彼は社会保険労務士よ！、社会保険労務士、社会保険労務士！」と言われるようになりたいものです。

私は、今年で開業満18年になりますが、開業以来ずっと自分の職業を社会保険労務士と省略せずに言ってきました。事務所ではもちろんのこと、官庁でも家庭でもそうして来ましたが、職員にもそのように教育しています。なかには社労士や労務士と言ったり、機関誌をはじめマスコミへの投書でもそうした表現をする人がいますが、そのたびに私は自分の体が押し潰されたような感じを受けてしまいます。

このほど三井銀行と太陽神戸銀行が合併して、4月から太陽神戸三井銀行が発足しますが、近年中に呼びやすい行名に変える予定だそうです。また、山陽相互銀行もトマト銀行と行名変更し、なかなかの人気を博しています。私も先日、つい興味半分から神田駅前にある東京支店に入り、預金口座を新設したばかりですが、ここは毎日お客でいっぱいとのことでした。

「社会保険労務士制度10年の歩み」によると、この名称が決まるまでにはいろいろな紆余曲折があったようですが、だんだん社会に定着しつつあるとはいえ、七文字はいかにも長いと思います。「私の彼はサラリーマン」などという歌が今ヒットしていますが、歌にまではならないとしても、せめてこの正式名称が、たとえば舌たらずの彼女にもスラスラと三回ぐらい連呼出来るものになってくれたらと思います。



“ただ今、青春まっただ中” ——私にとって 冒険とは——

登山家・医学博士 今井通子先生

1月10日、電設健保会館において、新春研修会が開催されました。登山家であり医学博士でもある今井通子さんを講師としてお招きして、冒険について語っていただきました。

パラグライダーとは

私の今年の正月は専らパラグライダー三昧だった。

パラグライダーというのは、“命を背負って斜面を降りる、”というフランス語の造語だ。山に登る人にとって、降りるときも同じ景色を見るのは面白くない。それに山登りそのものが降りより降りの方が危険だ。登るときは引力が下がっていくからスピーディーな行動結果はでない。だが、降りるときは引力に引っ張られるから、ちょっとバランスを崩すと滑落ということにもなりかねない。安全で、なおかつ早い時間に登りと違った景色を見ながら降りられたらとフランスで考案されたのがパラグライダーだ。

時代によって違う若者像

私は若いときから山が好きで、いろいろな山に登ってきたし、いまも登っている。だから、ずっと「青春真ただ中」だ。青春とは年齢ではなく、その人の考え方をいうのだそう。私自身、いつも、十代の後半から二十代前半の若者と付き合っているが、長い間時代によって変化していく若者像を見てくるといのはなかなかメリットがある。例えば、十代後半から二十代前半の若者を見た場合、時代によって様々に違う。私達の頃は、比較のアグレッシブな人間が多かった。山登りの世界一つみても、一匹狼がいたり、グループのリーダーを目指す人がたくさんいたりした。

ところが、その次の世代、今の四十代から下に

なると“やさしさの時代、とかいわれ、なにかやるときはみんなで一緒にやろう、一人抜け出すのはやめようという感覚になってきた。「俺のやり方はこうだ」という個性のある若者がいなくなった。

そうこうするうちに、今度は日本語を使わない世代になった。山登りの打ち合わせをすると、私達の少し下までは「あの山はザイルが何本必要だ」「ハーケンはこれこれを持っていく」と意見をいう。ところが、その下の世代は話を聞いているだけで意見をいわない。装備の割りふりで「A君は〇〇」「B君はなにを持っていくように」と指示をすると「ワン」「クーン」といった返事が返ってくる。「この連中、真面目に山へ登る気があるのか」と思いながら現場へ行くと率先して登っていく。言葉が単純だから“キャン、はOK、”“クーン、はいやだと理解できた。

だが、その次の世代になると何を考えているのかさっぱりわからなくなった。会計士をやっている友人のケースだが、新入社員に「これを写すように」と帳簿を渡した。2週間経って「どのような内容か大体わかったかどうか」聞いたところ「何もわからない」という。「帳簿を写したのならどのような内容かわかるはずだ」と念を押したら「帳簿は全部写したがわからない」という。そこで、写した帳簿を持ってこさせたらなんとコピーだった。「写す」という言葉が、二十代はコピー、五十代は書き写すということだ。世代によって言葉が通じないのだ。

私達の仲間の三十代後半のC君にヒマラヤ登山の装備計画について、来週のミーティングまでに

個人装備に必要なものを全部あげてくるように指示した。この仕事は重要で結構面倒くさい。だがC君の返事は「ラッキー」だった。そのとき私は「なかなかやる気がある奴だ」と感心した。その後、なにかにつけて面倒な仕事をC君に頼むといつも「ラッキー」という返事が返ってくる。だが、よく観察していると、仕事はのろいし、物忘れも激しい。能力もあまりないようだ。おかしいと思って「人の嫌がる仕事を、いつもラッキーといって引き受けるがどうして」と聞いたら、「嫌な仕事だからラッキーといってお祓いをして引き受ければそれだけ気持が楽になるから」ということだった。そのとき、C君の「ラッキー」は「嫌だ、ということだ」とわかった。そのように世代によって言葉使いも変わってくる。そうした違いは常に二十代の若者と付き合っているとよくわかる。

新しい発見ができる

日本にパラグライダーが上陸したのは3年程前だ。主人に「やってみないか」ときそわれて始めたのだが、一度やってみたいと思っていたので違和感はなかったし、始めてみたら結構楽しいスポーツだった。もちろん飛ぶためには山へ登るのが一気に空をかけ降りるのは爽快だ。練習はオフシーズンのスキー場を利用するのだが、リフトや車で山頂まで行けるので体力はほとんど使わない。飛ぶとき手を左右に動かすだけでとても優雅なスポーだ。3回目で飛べるようになり、簡単なスポーツだと思ったとたん、4回目に木に引っか

かってしまった。地上から14～15メートルはあったらどうか。でも、地上に落ちたのは、枝がなくなった1.5メートルくらいのところだった。そのとき、パラグライダーは安全なスポーツだと思った。失敗してみたら口惜しい。あれこれ考えた末、体で理解していないことがわかった。そこで、体で覚えるトレーニングをしているうちにのめり込み、去年はアフリカの最高峰キリマンジャロの山頂から飛んだ。高度1700～1800メートル、10キロの距離を一気に滑空して降りる。山頂まで三泊四日かかる。4日目山頂から前々日泊った小屋の歩いて一時間程手前に約15分間で降りてしまったのだが、これは豪快で楽しかった。砂漠を越え、サバンナ地域を眺めながら降りる。山頂からは見えない亀裂や砂漠の中にすごい溝があったり、登っているときには見ることでできないものまで見える。歩きの下山組は朝出発して小屋に着いたのは夕方の5時。疲労困ぱいだったのだから、パラグライダーの方が速いし、だいいち爽快だ。

現在、日本ではパラグライダー人口は5～6万人といわれている。ただ日本の場合、草原地帯が少なく、飛べる場所があまりない。私達が正月いった伊豆の大室山は一面カヤでパラグライダーには最適の場所だ。それだけに空中は大変な交通滞帯。事故の危険がある。事実、私達が行っている時も空中衝突で二人が落下する事故があった。幸い一人が捻挫した程度で済んだ。都会のように下がコンクリートだったら大変だが下はカヤ。その点、自然の中は安全性が高いから一寸位無理をし



ても大丈夫だ。

やりたいことをやるときは能力フル回転

よく男のロマンという言葉を書く。男性の場合、新しい仕事に取り組むとき上司の命令でやらせられているといったところがある。会社が何を求めているのかなど周りのことを考え、それに沿った形で仕事をする。なにかと制約があるみたいだ。自分のやりたいことができない。そこでやりたいことを夢に託す。それを男のロマンといっているのだという話を聞いて男性ってかわいそうだと思うた。

私は、仕事も遊びもやりたいようにやっている。やりたいことをやっているときは自分の能力を全て駆使する。パラグライダーで落ちたとき、一瞬の間になにを考えるか。医者という立場から脊椎だけは損わないようにする。なぜか、脊椎を痛めると神経麻痺を起す危険性があるからだ。そうした行為は、ある程度の知識を伴った集中能力と落下地点がどうなっているのかの観察能力が必要だ。

世界の山へ行くには情報収集が必要

二十代中ばから三十代前半の人達は情報収集がうまい。彼等は情報のどれを取ったらいいか、セレクションする能力に秀れているからどんな情報でも集める。が、反面、自分が見たものを文章で表現することは不得手になった。

世界の国の山は、平和な国でないと登ることができない。政情が不安定な国の場合、いつ政情が落ち着くのか、かなり高度な情報を収集する能力、分析力を持っていないとなかなか行かれない。私はチベット側からヒマラヤへ登りたいと思い、20年も前から国交のない中国へ手紙を出してアプローチをしていた。1980年代になって、ヒマラヤ登山の許可がでた。そうになったら必死に行く。チョモランマを初め1年おきに登山隊を出した。昨年、不安門事件があったとき、中国の登山協会から「来ないか」といつてきたが、ああいう政情不安なときは許可がおりるかどうかわからない。準備をしていつて「駄目だ」といわれてもそれまでだ。判断を誤ったらもともともない。

朝鮮民主主義人民共和国の白頭山へ登った。このときも日本と米国の情報だけでは北朝鮮へ入る

ことすらできなかった。ところが、南米、アフリカ、フランスの新聞には、金日成がどこの国へ行ったとか、ミッテランが話し合いにいったとか報道されている。「なんだあっちこっち付き合っているじゃないか。それじゃ打診してみよう」と、つてを通じて交渉し、行くことに成功した。とにかく、世界の山へ行こうと思ったらその国の政情が落ち着いているときに狙うことが大切だ。ただ行きたいというだけで無計画に行ったらひどい目にあう。これまでもその国の政情が不安定になりひどい国にあった登山隊がたくさんあった。

現代の若者に欠けている観察能力

ところで、私自身、日本人の中では運動神経が発達している方だと思っている。いや、ヨーロッパやカナダの山のガイドに負けない五感の持主だと自負している。雪崩れや落石を発見するのは人より秀れているし、遠くの動物を見つけるのも早い。目のいいのが自慢だ。ところが、アフリカのケニアとタンザニアの間を行ったり来たりしてるマサイ族のガイドには驚いた。「シマウマが4頭来る。1頭は仔馬だ」と説明する。だが、目の前にいるのは象やキリンでシマウマはどこにもいない。それが三谷位たった頃、かげろうの彼方から4頭のシマウマが現れた。1頭はたしかに仔馬だった。とにかく五感が発達している。足も速い。彼等の運動神経は人間離れしている。

ウガンダのカセセという町にあるクインエリザベスナショナルパークへ行ったとき船上から水辺にいた動物の生態を観察した。このとき、面白かったのがカバの生態だった。水辺にいた50頭程のカバの群れが、船に驚いて動き出した。岸から奥へ逃げるはずだと思ったら逆に船に向かって川の中に突進。水中に入ったカバの上に後続のカバがのしかかり、みるみる「巨大なカバの山、」ができた。1頭ずつ川に入っていけば「カバの山、」ができるわけがない。「どうしてか」疑問に思いつて観察していたら、カバは一気に水の中に入らないことがわかった。一度全身を水につけても、目、鼻、耳を水面上に出し、周囲を把握してから水中に入る習性がある。だから、前のカバにつっかえて、カバ山ができるのだ。さらに、目、鼻、耳だけを出して水中にいるカバの顔を見ているうちにカバの体の大きさを想像してみた。最初は大きな体を

想像する。10回位繰り返すと、顔が大きい割に体が小さくなる。そうしたりバウンドがあつてはじめて顔と体が一致するようになった。このように自分でやっていることを分析すると観察能力をフルに駆使していることがわかる。

ところが、情報過多時代になり、物事が短時間でわかるようになると、物を自ら観察し発見することをしない。現代の若者は、マニュアルがあればなんでも一生懸命やるが、マニュアルがないとなにも動けない人が多い。積極的に行動せず、人のやることを見ているだけだ。指示されて動く。まるでロボット人間だ。

これは教育にも問題がある。受ける教育ばかりやってきた人間は、自分からなにかつかもうとする感覚、自分の意見とか物事に対処する、理解するといったことを考えないようになってしまった。観察力がなくなったということが一番の問題だ。これは医学的にもはっきりしている。脳細胞の中で脳の右半球の皮質を駆使せず、左半球だけの皮質を駆使すると人間同士のつくった約束事の記憶はできるが造形的なものではできない。物事を把握する、考えだすのは、自然にいろいろなことを積み重ねた経験の中からでてくる。それができない。そういったものを教育で教えてくれなかった。

自然と楽しむ喜びを知って欲しい

二十代の若者は、物事をよく知っている。知識はあるが、自分で経験していないから物事を自分なりに考えるのが下手だ。それだけに物事を見ると、いつも同じ角度で正しいことだけを見るので

はなく、斜めの見方もある、そのときの気分ではなくを考えてもいいんだということを知って欲しい。そういう点では、自然を勉強のターゲットにするといい。無限で、繊細で、広大な自然を教師にすると年代を超えていろいろなことがわかってくる。

その中で一番大切なことは、物を見るとき、その物に興味を持ち、自分なりの思考と観察力で全てを見る時間を持つことだ。それができるようになると、山とか、海とか、空とか自然の中が楽しくなってくる。最近の若者を見ていて思うのは、物事を単純化しよう、単純化しようという傾向が強いということだ。私たちが山へ登るときはまったく逆だ。ファクターがたくさんあれば、全部のファクターに対応できる手だてを講じておかないとなにか起きたときは対応できない。Aが駄目ならB、Bが駄目ならCというように物事に対応できるような経験や能力を養うには自然の中で楽しむのが一番いい。

パラグライダーは、平坦な地上から物を見るのとは違い、空間から物が見られる。ということは、アイディアの思考回路をもう一つ持つことができるわけだ。また、風とか気流など気象条件のファクターを肌で感じることによって感覚が研ぎ澄まされる。そういった点で実に素晴らしいスポーツだ。いずれにしても自然の中で遊ぶことは、自分で気がついていない能力を向上させてくれる。情報を収集し分析する能力はあっても、考える能力や、やる気のない二十代、三十代の人達に自然と楽しむことを一からやって欲しいというのが、私の願いだ。

新年賀詞交歓会盛大に開催さる。

平成2年1月10日、電設健保会館において研修会終了後、関係行政機関等の来賓をお招きし、百名近い参会者で盛大に開催されました。



第13回定例支部会議・政治連盟第4回定期支部大会が開催されました

日時：平成2年3月14日／場所：電設健保会館

(1) 支部一平成2年度事業計画、予算は次のとおりです。

【平成2年度事業計画】

国内経済は、内需主導型成長のもとに好況が続いています。その中で人出不足問題は深刻で、時短の推進等労働条件の改善、高齢者雇用、パートタイマー、外国人労働者の扱い等は大きな課題です。又、厚生年金保険法等年金制度をはじめ、労働・社会保険諸法令の改正等、社会保険労務士にとって益々業務多端な時期を迎えています。

1. 支部運営の基本方針

(1) 組織の強化

- ① 開業会員、勤務等会員は常に一対であり、相互に思いやりの精神と、各々の立場を尊重し協力をもってより一層強固な団結を図る。
- ② 支部例会と各委員会活動の活性化を図る。
- ③ 新規入会者、新規開業者等を対象とした懇談会を行う。
- ④ 諸会議、各委員会活動の記録、保存等の充実整備を図る。
- ⑤ 会員及び会員事務所職員の体育事業、福利厚生事業の充実・発展に努める。

2. 事業計画の具体的施策

各委員会の計画を基本として、知識、技能等資質の向上、業務の改善などを図るための研修会を開催するほか、会員相互の親睦を目的とした事業を実施し、和の精神の高揚に努める。さらに組織を通じて諸事項の伝達並びに意見具申のできる効率のよい支部例会を展開する。

また、部会活動については、自主的運営とし、それぞれの会員に対し、有効適切な諸事業を積極的に実施する。

なお、支部事業については、年間スケジュールをたて、予め会員に周知徹底を図る。

(1) 支部会議日程 平成3年3月27日(水)

(2) 正副支部長・委員長会開催予定日

平成 2 年	4/11(水), 7/11(水), 11/7(水)	平成 3 年	1/10(木)
	5/9(水), 9/12(水), 12/12(水)		2/13(水)
	6/13(水), 10/12(金)		3/13(水)
			3/27(水)

(3) 幹事会開催予定日

これ等業務に専門家として万全を期し、対応してゆくためには、知識、技能、情報等一層の資質向上に努めなければなりません。

今年度の支部活動は、会員一人ひとりが例会、研修会、行政協力事業等の機会を通じ、自覚と責任を全うし、これを支部活動推進の原動力にすることです。

⑥ 社会保険労務士厚生年金基金設立への積極的協力を図る。

(2) 資質の向上(業務改善、法律、人事労務問題)

① 研修会の開催

② 新規入会、開業準備者セミナーの開催

(3) 会報の発行

(4) 行政機関等関係団体との協力関係の推進

① 労働保険年度更新事務

② 算定基礎届相談コーナー

③ 名札掲示等

年4回正副支部長・委員長会と同日に開催する。

2 年	5/9(水), 9/12(水), 12/12(水)	3 年	3/13(水)
--------	---------------------------	--------	---------

(4) 例会の開催予定日

2 年	6/13(水), 9/12(水)	3 年	1/10(木)
	7/11(水), 10/12(金)		3/13(水)

(5) 委員会の開催予定日

年4回程度とし、必要に応じ開催する。

(6) 研修会の開催予定日

2 年	6/13(水), 9/12(水)	3 年	1/10(木)
	7/11(水), 10/12(金)		3/13(水)

(7) 会報の発行予定

年4回発行する。(6月, 9月, 1月, 3月)

(8) 懇親会の開催予定

2 年	9/12(水), 10/12(金)~13(土)	3 年	1/10(木), 3/27(水)
--------	-------------------------	--------	------------------

(9) その他の行事

- ① 東京商工会議所相談窓口 毎月開設する。
 ② 労働保険事務説明会 毎月開設する。
 ③ 算定基礎届相談コーナー 8月に開設する。

- ④ 労働保険年度更新事務協力 5月、6月に実施する。
 ⑤ 関係官庁等の事務打合せ 随時開催する。

3. 平成2年度収入支出予算

科 目	収 入 (円)	支 出 (円)	差引過不足 (円)
支部業務費	930,165	930,165	0
第一部業務費	1,011,305	1,011,305	0
第二部業務費	1,323,000	1,323,000	0
雑収入 (利息)	1,064	0	1,064
合 計	3,265,534	3,264,470	1,064

【2】政治連盟

【平成2年度運動方針】

本年度も基本的には、当支部規約の定めるところに基づき、目的達成のため、東社労政治連盟、並びに東社労千代田・中央支部と連けいを一層密にし、諸施策を講じて社会保険労務士制度の発展、向上に努めるものとする。

殊に元年度に創設した広報、財務各委員会の積極的な事業活動によって、更なる組織の強化と全会員の理解と協力を求め得るよう、政治団体としての実力の蓄積に寄与するものとする。

I. 収入の総額	594,180円	II. 支出の総額	300,000円
(1) 前年からの繰越額	250,000円	(1) 組織活動費	300,000円
(2) 本年の収入額	344,180円		
		翌年への繰越額 (I - II)	294,180円

会 員 異 動 状 況

(単位：名)

項目 地区	平成元年10月31日現在			異 動 (増減)			平成2年2月28日現在		
	開 業	勤務等	計	開 業	勤務等	計	開 業	勤務等	計
麴 町	38	138	176	0	3	3	38	141	179
神 田	58	126	184	1	3	4	59	129	188
日 本 橋	33	109	142	0	1	1	33	110	143
京 橋	45	102	147	0	△3	△3	45	99	144
合 計	174	475	649	1	4	5	175	479	654

第2回広報委員会開催

去る2月13日、衆議院選挙の投票日を2月18日(日)に控えて、急きょ第2回広報委員会を薬業健保健康開発センターで開きました。

千代田中央支部員からは、特に候補者の推せんがありませんでしたが、他支部からの都関係候補

者39名の推せん依頼があり、これを都本部で承認決定したため、千代田中央支部も応援することとして、推せん議員候補者の名簿を全会員に発送し協力を求めました。

その他、今後の事業活動についても協議しました。

衆議院議員総選挙の結果 推せん39名中29名当選

東京都社会保険労務士政治連盟は、ご承知のとおり、都関係候補者39名を推せんし、会員の皆様、多大なご支援を願ったところでありますが、結局29名の方々が当選され、当選率は74.3%でありました。

当選者個々の政党及び氏名は、本部より、改めてご紹介があると思いますので、省略させていた

だきますが、まずはご協力に対して厚くお礼を申し上げます。

当選されました各議員の方々には、今後我々社会保険労務士のため、社会保険労務士制度発展のために、大いに働いてもらいたいものです。

本部としても、末端会員の労に報いるべく積極的な政治活動を期待しております。(山本)

労働保険説明会が開催されました

会場…中央労働基準監督署

第59回 平成2年1月9日(火)

講師 中央労働基準監督署

井守給付調査官、田原労働基準監督官

会員 横尾直子、森茨忠義

出席事務所 14

第60回 平成2年2月7日(水)

講師 中央労働基準監督署

新井給付調査官、千坂労働基準監督官

会員 佐々木俊世、朝緑陽太郎

出席事務所 7

第61回 平成2年3月5日(月)

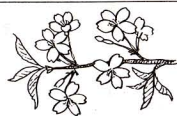
講師 中央労働基準監督署

及川適用指導官、丹羽労働基準監督官

会員 町口政二三、真許隆弘

出席事業所 5

あ と が き



広報委員 山崎雅也

▷平成元年度も、残り少なくなつてまいりました。会員の皆様、この一年ほんとうにご協力ありがとうございました。

▷私達編集スタッフ一同あと一年の任期もがんばりますので、どしどし原稿をお寄せ下さい。

今後ともよろしくお願いいたします。